

おりいぶ通信 8月号

福)愛育福祉会幼保連携型こども園こぼと保育園分園おりいぶ 令和2年7月30日発行

新型コロナウイルス感染症対策

7月27日に感染症対策の文書を配布しました。県内でも感染者が増加しており、非常に危機感を持っています。熱中症の観点から園内における園児のマスク着用は控えています。検温、手洗い、うがい、室内のアルコール消毒を今後も徹底していきます。

様々な対策に関して、保護者の皆さまにはご理解とご協力をよろしくお願い致します。

スマホ時代の子育て(内閣府チラシより)

「子どもがゲームをしたいと言う。」

「ゲームの内容が子どもによいものかどうか…」

「スマホに夢中に生活リズムが心配…」

スマホ時代と言われる現代において、保護者の悩みはつきません。

まずは大人がお手本に！

最初が肝心。ルールを決めてあげるのは大人の役目です。

そして、守れたら褒める。子どもの成長に応じてルールも見直しましょう。

<お知らせ>

○9月5日(土)は延岡の市民体育館にてこぼと保育園と合同で親子の集い(運動会)が開催されます。

< 体育館練習計画 >

8月17日(月) 午前 体育館練習

9月 3日(木) 午前・午後 体育館練習

9月 4日(金) 午後 体育館練習

9月 5日(土) 親子の集い本番

※体育館練習に行く時には事前に連絡をします。

<主な活動>

☆うた

みずあそび 南の島のハメハメハ大王
アイスクリームのうた うみ

☆手あそび

すいかの名産地 ミツ矢サイダー
いっぴきおばけ アイスクリーム

☆戸外あそび

散歩(城山下広場・野口記念館等)
城山公園(二の丸公園)

☆水あそび(8/15まで行います。)

☆さくらさくらんぼ

おふねはぎつちらこ
うさぎ とんぼ こうま きしゃ めだか

☆リトミック 8月はありません

☆コアキッズ 8月はありません

☆図書館読み聞かせ 8月は中止となります

8月の予定

★お弁当日 14日(金)・15日(土)

★おたのしみ会 25日(火)

★防災訓練 28日(金)

保育料口座振替 25日(火)

< すいかの名産地 >

ともだちができた すいかのめいさんち
なかよしこよし すいかのめいさんち
すいかのめいさんち すてきなところよ

かわいいあのこのはれすがた すいかのめいさんち

給食にもスイカが出たりしてとても楽しくてあそびをしています！

< すくすくコーナー >

●下痢症状の子どもが増えています。

→下痢はまだ消化器官が未発達の時期や身体に合わないものを体外に出そうとして起こります。

主な下痢の原因は・・・

- 消化不良によるもの→食物繊維や糖分の多い食物(いも類・かぼちゃなど)や乳製品のとりすぎなど
- ウイルス・細菌によるもの→嘔吐を伴う事が多く、発熱することもあります
- 食物アレルギーによるもの→発疹が出たり、呼吸苦が出ることもあります

病院受診後の対処方としては・・・

消化の良い食事にする・・・おかゆ、うどん、バナナやりんごのすりおろしなど少しずつ時間を分けて食べさせます。

お腹を温める・・・冷たい飲み物を控えたり、衣服で調整したりとお腹が冷えないようにします。

お尻を綺麗にする・・・できるだけシャワーやお湯で洗ってそっと拭くようにします。

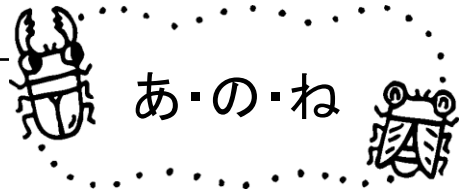
こまめな水分補給で脱水予防をする・・・1口ずつ数回に分けてスプーンなどで少量ずつ飲ませます。

☆おむつ交換の後は保護者の方も手洗い等を丁寧にして下さいね。

●夏の感染症

手足口病、ヘルパンギーナ、流行性結膜炎

※発熱の症状や肌の異常が見られた場合には、なるべく早目に病院へ行きましょう。



なぐり描きをしていた2歳児の男児の会話です。

クレヨンを手にして

男児「よ～し、全部持って描くぞー！」

(全てのクレヨンを手で持ちました。でも全てクレヨンを持つ事ができず、次々に手からクレヨンが落ちていきます。)

男児「あれ？クレヨンが落ちていくなー」

(男児は腕、胸を使って全てのクレヨンを手で持つ事ができました。しかし・・・次に絵を描き始めると、画用紙がスルスル机の上で動くのです。)

男児「くっそー！描けないなー」と口にすると他の保育者から紙を押さえてもらって何とか描けました。

男児は楽しそうに茶色のクレヨンを手にして「これ何色？」と職員へ訊ねました。職員は「茶色だよ」と言うと

男児「そう！茶色！茶色はチョコレートだね」ととても楽しそうに絵を描いていました。

絵を1枚描くにも子ども達には一苦勞です。ですがどうにか自分で考えて、どうやって描けばいいのかなどで答えを見つけ出していきます。

特に1～3歳はできない事も自分でする！したい！という気持ちが強く見られます。小さいから等の理由で全てを手伝うのではなく、見守る事、どうやったらできるようになるかの助言をしていくこと、子どもができる力を信じて、子どもがしたいようにする！という時間も大切だと改めて感じた瞬間でした。